

■ 取扱説明書

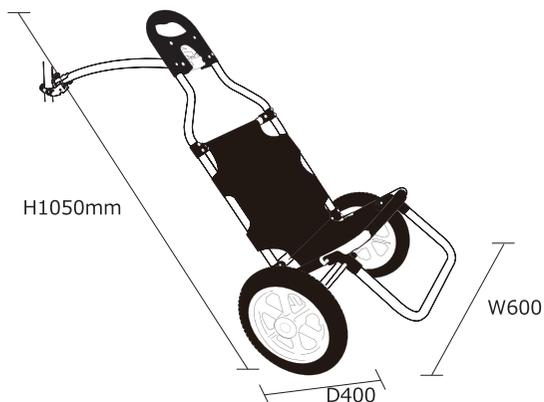
本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

■ Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.
This product is designed and manufactured for use in Japan only.
We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.
The importer shall be translate this instruction manual into the appropriate language for the users of this product.
The distributor shall make the users of this product understand the contents of this instruction manual.

■ ご使用前に

- ・本製品は自転車に取付可能な荷物運搬用製品です。それ以外の用途に使用しないでください。
- ・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無い毎回確認してください。
- ・本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- ・本製品の最大積載重量は 15Kg です。これを超えてのご使用はしないでください。
- ・梱包用の袋は、乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。開封後は速やかに処分してください。
- ・本製品に人やペットなどの生き物、高額品、易損品を載せないでください。



■ 製品仕様

材質：(フレーム) アルミ、(フレーム接合部) グラス繊維強化ナイロン、(荷台布) ラミネート PVC、
(リム) アルミ、(ハブ) スチール、(スポーク) スチール
製品サイズ：W600×D400×H1050mm (トウバーを除く) 最大積載重量：15kg
重量：5.0 kg タイヤサイズ：12-1/2 * 1.75 インチ 原産国：中国
取付可能自転車サイズ：20 ~ 27 インチおよび 700c、取付可能シートポスト径：25.4 ~ 31.6mm
※カーボンフレーム、カーボンパーツ使用車では、ご使用になれません。破損の原因となる可能性があります。



本製品の法的扱いについて

[本製品を接続して公道を走行する場合]

- 道路交通法及び各都道府県の道路交通規則に従って走行してください。
- 一般的な自転車は、軽車両の中の「自転車」さらにその中の「普通自転車」という扱いです。しかし、自転車に本製品を接続した場合、「普通自転車」ではなくなります (道路交通法第 2 条第 1 項第 11 号)。
- 歩道を走行することはできません (道路交通法第 17 条、第 17 条の 2、第 18 条)。



道路交通法により禁止されていること

- ・歩道の走行
- ・「自転車通行可」の歩道の走行
- ・自転車通行帯の走行
- ・サイクリングロードの走行
- ※自転車と接続した状態でも押して歩く場合は歩行者扱いとなります。
どうしても歩道を通る必要がある場合は、必ず自転車から降りて、押して歩くようにしてください。

また、道路交通法の委任条項を定めた道路交通規則は、各都道府県により異なります。公道を走行する前に、必ず本製品を使用する道路の属する都道府県の定める道路交通規則を確認し、遵守してください。

○積載可能上限は当社が推奨する上限を超えないようにしてください。
本製品に積載可能な荷物の高さ / 幅 / 重さは、各都道府県の道路交通規則により制限されています。
公道を走行する前に、必ず本製品を使用する道路の属する都道府県の定める道路交通規則を確認し、遵守してください。

道路交通法及び道路交通規則は、インターネットでも参照することができます。
道路交通法： <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S35/S35H0105.html>
東京都道路交通規則： http://www.reiki.metro.tokyo.jp/reiki_honbun/g1012199001.html
大阪府道路交通規則： http://www.pref.osaka.jp/houbun/reiki/reiki_honbun/ak20110841.html



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・最大積載量 15kg を超過した荷物は載せないでください。
- ・本製品に人や、ペットなどの生物、易損品を載せないでください。
- ・使用毎に必ず運行前点検をしてください。
- ・真っ直ぐな道では時速 16km、曲がり角では時速 8km を超えての走行は絶対にしないでください。スピードを出しすぎると、曲がりきれずに転倒などの事故を引き起こす可能性があります。十分に速度を落としてからカーブに進入してください。



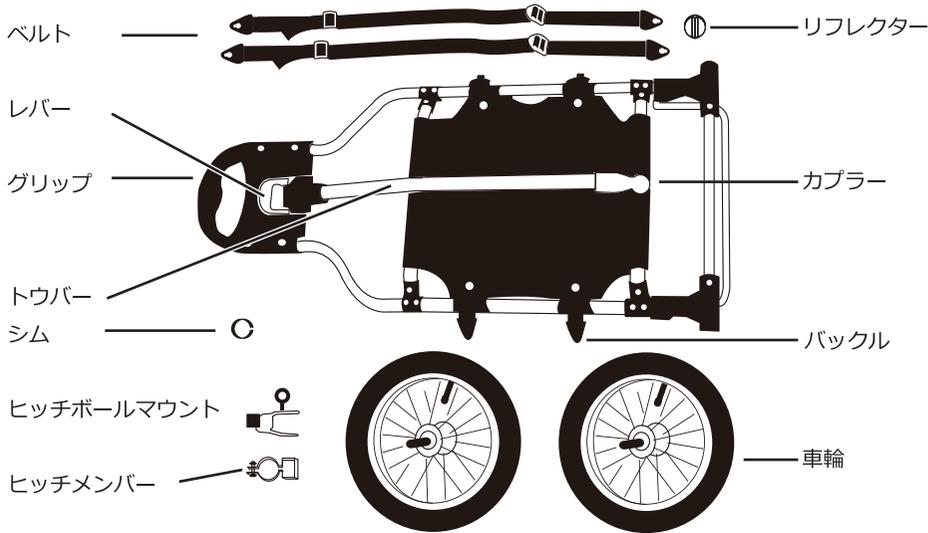
注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

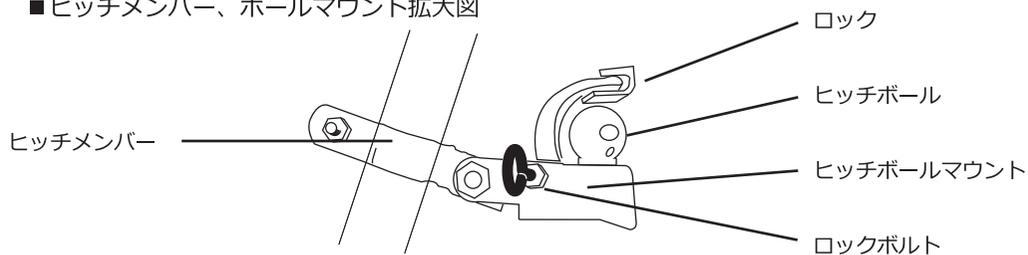
- ・急な曲がり方をすると、転倒や破損する場合がありますので避けてください。
- ・本製品を改造しないでください。
- ・本製品を自動車、原動機付き二輪車、一輪車等、標準的な成人用自転車以外のものに絶対に取り付けしないでください。無理な加速、力、スピードがかかると大変危険です。
- ・本製品を牽引する自転車にはバックミラーを取り付けてください。
- ・本製品には必ずリフレクターを取り付けてください。本製品後部にリフレクターが正しく取り付けられているか、走行前に確認してください。
- ・リフレクターが汚れていたり、破損したまま乗らないでください。リフレクターは自動車から本製品を認識しやすくし、ご自身の存在をわかりやすくして危険を防ぐためにも重要な部品です。常に汚れや破損、脱落がないか点検してください。
- ・走行前に本製品の取り付け部分が、自転車走行に邪魔になっていないか確認してください。
- ・国で定められている法律、交通規則に従ってください。
(各都道府県によって軽車両の扱いが異なります。)
- ・高速道路や交通量が多い道、自転車走行に適切ではない場所では走行しないでください。
- ・本製品を含めた車長、車幅を意識して走行してください。
- ・夜間の走行は避けてください。夜間の走行がさけられない場合は、自転車前部に前照灯、自転車及び本製品の後部に赤色尾灯を取り付けて走行してください。
- ・車の運転手から本製品がいつも見えていると仮定しないでください。
- ・自転車に取り付けられたバックミラーで常に後方の交通状態を確認してください。
- ・急なカーブや坂道、凹凸、段差の激しい道や障害物の上を本製品を牽引しての走行はしないでください。簡易舗装道路や工事中の道路、砂利道は非常に滑りやすく、バランスを失うことがあります。
- ・山岳・河川などでは自転車で牽引しないでください。自転車および本製品の重要部品に深刻なダメージを与えたり、またそれらの破損原因となります。これらの場所、また類似する場所での牽引走行は絶対におやめください。
- ・滑りやすい状況では使用しないでください。雪道や凍結路、工事の鉄板やマンホールの上など、滑りやすい状況下では一旦自転車を降り、押して通るか避けて通るなど注意を心がけてください。
- ・悪天候での走行は可能な限り避けてください。濡れた路面、滑りやすい路面での走行は、運転操作が非常に難しくなりますので、大変危険です。
- ・視界の悪い状況では使用しないでください。前方が見えないだけでなく、ほかの歩行者や自動車からも自転車を認識することが難しくなります。
- ・自転車及び本製品に異常があるときは使用しないでください。異常があるまま走行すると、車体や部品の破損原因となり、また転倒や事故などの深刻な事態を引き起こすことがあります。

- ・安全のため、ご使用前に毎回以下の項目をチェックしてください。
 1. 自転車に異常がないこと
 2. 本製品のタイヤの空気圧が適正であること
 3. 荷物が積載上限（15kg）を超えていないこと
 4. 本製品及び、自転車の接続部に異常がないこと
- ・安全に本製品を牽引するためのガイドライン
 1. 本製品を牽引しての走行は自転車単独での走行とは操作面で相違しています。荷物の重さは、出発時、停止時、曲がるときの走行に影響します。
 2. もし、適正な自転車の運転方法を熟知していなければ、本製品を牽引する前に十分時間をかけて練習してください。
 3. 適正な自転車の運転方法を熟知した後、6～9kgの荷物を本製品に載せて、交通のない安全な場所で練習してください。
 4. 自転車の運転能力に自信ができるまで、絶対に本製品を牽引して公道を走行しないでください。
- ・牽引中の本製品は、自動車など周囲から認識されにくいことがあります。自転車用反射材、必要に応じて赤色尾灯をご使用ください。
- ・ヒッチボールにカプラーを被せたり、ロックを操作する場合は手を挟まないようにご注意ください。作業用手袋などをご使用ください。
- ・自転車から分離してキャリーカートとして使用する場合は、必ずトウバーを折りたたみ、グリップを持ってください。トウバーを握り本製品を引っ張ると、ヒッチボールがないため予期せぬ応力がかかり破損の原因となります。
- ・積荷を確実に固定してください。乗車前に固定状況を確認してください。
- ・必要に応じて自転車荷台用のゴムひも、ネットなどをご使用になり、荷物が落ちないようにしてください。ゴムひも、ネットなどは車輪に巻き込まないように固定してください。
- ・盗難防止のため、本製品に荷物を載せているときは周囲を離れないようにしてください。
- ・自転車及び本製品に異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、点検・整備を行ってください。
- ・本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

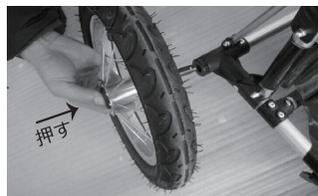
■各部の名称 (付属品)



■ヒッチメンバー、ボールマウント拡大図



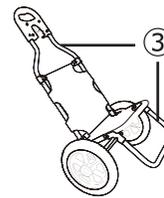
[本体の組立方法]



1. ホイール中心部分の黒いゴムを押しながら車軸を本体に挿し入れます。
 ※取り付け毎に車輪が抵抗なく回る事、黒いゴムを押さない限り抜けられない事を確認してください。



2. レバーを上方へ引きながら、トウバーを引き上げてください。
 ※レバーを引かずにトウバーを引き上げると樹脂部が破損する可能性があります。
 ※画像は見えやすくするため素手で撮影しています。ケガ防止のため滑り止め付きの作業用手袋などを必要に応じてご使用ください。



3. 左図 (3) など後方の車両から見える位置にリフレクターを設置してください。

[ヒッチメンバーの取付方法]



1. シートポストを一旦抜き、シートポスト下側よりヒッチメンバーを設置します。シートポストの直径に合わせて適切なシムを使用してください。トウバーが概ね水平になる位置で、ネジを締めて固定してください。

※自転車をまっすぐに立て、非乗車時の地上高が 65cm 以上 105 cm 以下になるように設置してください。

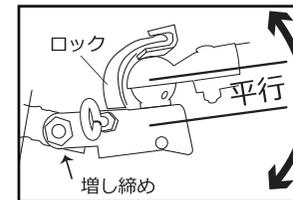
※シートチューブ上端からヒッチメンバー下端迄の距離は 13cm 以内になるように設置してください。

※距離が離れすぎた場合、シートポスト及び、シートチューブに負担が掛かり破損の原因となる可能性があります。

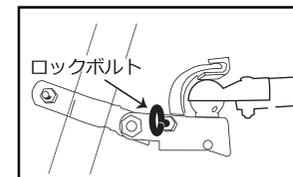


2. ヒッチメンバーにヒッチボールマウントを取り付けます。
 ※後で角度を調整出来る程度にボルトを締めます。

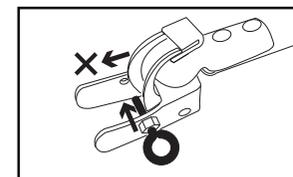
[本体と自転車の連結]



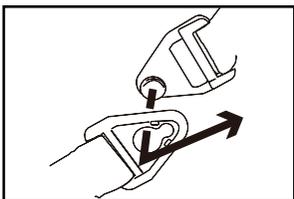
1. ロックを引き起こしながら、ヒッチボールに本体のカブラーを被せます。
 ※手を挟まないように注意してください。
 2. ヒッチボールマウントの角度を調整し、増し締めを行い固定します。
 ※角度はヒッチボールマウントとカブラーが概ね平行になるように調整してください。



3. ロックボルトを締め込み、ロックを固定します。
 ※走行毎に必ず、ロックボルトを締め込んでロックを固定してください。
 ※必要に応じて耐候性のある結束バンド等をロックボルトの穴に通してヒッチボールマウントと固定してください。



[ベルトの取付]



本体両側のバックルの凸部をベルトの穴に入れ、軽く引いて留めてください。

※必要に応じて、自転車用荷台用のゴムひもや、カゴ用のゴムネットを併用してください。

※ベルトやゴムひも等は、車輪に巻き込まれないように固定してください。

[ベルトを短くする場合]



通常は左図(7)を引いて短くします。

それ以上短くする場合、下記を行ってください。

1. アジャスター(1)を保持しながら手前のベルト(2)を引きアジャスターから出ている(3)を短くします。
2. ストッパー(4)を引き起こしながら、(5)を出来るだけ引きます。
3. アジャスター(1)を持ちながらベルトの端(6)を引き、(5)の弛みを引き出します。
- 4.(7)を引いて微調整します。

[ベルトを長くする場合]



(7)に弛みがある場合、ストッパー(4)を引き起こすと長くなります。

それ以上長くする場合、下記を行ってください。

1. アジャスター(1)を保持しながら奥のベルト(5)を引き、ベルトの端(6)を短くします。
2. アジャスター(1)を保持しながら(3)を引き出し全体を長くします。
3. ストッパー(4)を引き起こし(5)と(7)の長さを調整します。
4. 必要に応じて、上記を繰り返します。
- 5.(7)を引いて微調整します。

※ベルトが車輪等に巻き込まれないように固定してください。

■ 保管 および メンテナンス方法

- ・長い期間汚れを放置しないでください。素材が劣化する原因となる場合があります。
- ・本製品が良い状態を維持するために、必ず1ヶ月に1度は以下のメンテナンスを行ってください。

1. タイヤ： 空気圧が適切か、また破損がないか確認してください。
(パブルの弛みや虫ゴムの傷みがないかも確認してください)
※空気圧が低いとタイヤやチューブの損傷を早め、走行性を悪化させます。
※タイヤの裂けやヒビ割れは突発的な事故を引き起こす原因になり危険です。
2. フレーム： 弛み、ひび割れ、変形がないか確認してください。
※固定部がはずれた場合、転倒や後続の車(人)を巻き込む可能性があり危険です。
3. ヒッチメンバー、ボールマウント： 弛みや固定方向に誤りがないか確認してください。
※カプラーに適量の自転車用グリスを塗布してください。

- ・屋内に保管してください。屋外に放置すると、雨や日光などによってサビや劣化を起こす場合があります。
- ・雨や砂・土が付着した場合、タオルで拭くなどしてよく乾燥させてください。
- ・製品または付属品は乳幼児の手の届かないところに置いてください。